MMQCニュース

Vol.098

平成30年2月1日(木)

発行:(有)エー・エム・アイ

寒さもピークになりました。

今年は雪が12月から降り近畿のスキー場も賑わっているとの事です。冬季オリンピックも開催され、日本選手の活躍が期待されます。女子のスケートで小平奈緒選手や高木美帆選手などがメダル争いをすると期待しています。　栩野

MMQCとは「もっと儲かる業務改善」で「業務改善は、人づくり、品質づくり」を実践する着実・前向き・具体的な活動です。

「若さ」=「信念」x「自信」x「希望」

右掲は、サミュエル・ウルマンの「青春」という詩です。青春は肉体的な若さをいうのではなく、精神の若さであり、若くても年老いた人がいるという主旨の物です。戦後の復興期に多くの経営者が、この詩に励まされたと言われています。

私は、この詩から「若さ」=「信念」x「自信」x「希望」と公式化しています。まず、「信念」ですが、「この道を行く」という志が大切です。「道」という字は「首」と「辶」で構成されおり、「辶」は上の点(夢)を目指して右下から歩み、歩き続けると転換点が来て急速に点(夢)に近づいて行くという事を表し、その点(夢)に首をかけているのが「道」と解釈しています。

次に、「自信」は経験を積んで行くことによって膨らんで行くのですが、故船井先生が「過去オール善」と教えて下さっていますが、成功も失敗も「善」として、その経験から学びルール化する事と教わっています。このルール化したものを「知識データベース」として蓄積して、いつでも取り出せるようにしておく事が大切なのです。確かに、やり放しは一番ダメで、次に反省しても繰り返すのもダメなのです。ルール化(反省)しても忘れてしまうのです。人間は忘却の動物と言われるので、忘れないようにルールとして記録に残して、索引などで検索しやすくしておく事が大切です。

最後の「希望」ですが、確かに未来に向かって行く方向性がある方が楽しいですね。卑近な例ですが、家族で旅行するなどの企画をすると当日

青　春

サミエル・ウルマン

青春とは人生のある期間を言うのではなく心の様相を言うのだ。優れた創造力、逞しき意志、炎ゆる情熱、怯懦を却ける勇猛心、安易を振り捨てる冒険心、こう言う様相を青春と言うのだ。年を重ねただけで人は老いない。理想を失う時に初めて老いがくる。歳月は皮膚のしわを増すが情熱を失う時に精神はしぼむ。苦悶や、狐疑、不安、恐怖、失望、こう言うものこそ恰も長年月の如く人を老いさせ、精気ある魂をも芥に帰せしめてしまう。年は七十であろうと十六であろうと、その胸中に抱き得るものは何か。曰く「驚異えの愛慕心」空にひらめく星晨、その輝きにも似たる事物や思想の対する欽迎、事に処する剛毅な挑戦、小児の如く求めて止まぬ探求心、人生への歓喜と興味。

人は信念と共に若く　疑惑と共に老ゆる
人は自信と共に若く　恐怖と共に老ゆる
希望ある限り若く　失望と共に老い朽ちる

大地より、神より、人より、美と喜悦、勇気と壮大、偉力と霊感を受ける限り人の若さは失われない。これらの霊感が絶え、悲歎の白雪が人の心の奥までも蔽いつくし、皮肉の厚氷がこれを固くとざすに至ればこの時にこそ人は全くに老いて神の憐れみを乞う他はなくなる。

人は信念と共に若く　疑惑と共に老ゆる
人は自信と共に若く　恐怖と共に老ゆる
希望ある限り若く　失望と共に老い朽ちる

人生、百歳は古来稀なり　九十は奇とするに足る無し
八十は大いに為すべし　七十は得ること多し

木原　伸雄

吾、十有五にして学に志す。(志学)
三十にして立つ。　(而立)
四十にして惑はず。　(不惑)
五十にして天命を知る。　(知命)
六十にして耳順(したが)ふ。(耳順)
七十にして心の欲する所に従へども、矩(のり)を踰(こ)えず(不踰矩)

論語:為政より

「商品」にも「希望」をメイクするパワーがある

まで色んな準備で楽しめる物です。同じように、「商品」にも不思議なパワーがあります。女性は美しくなりたいという希望にいろんな物に投資(時間・金)をしますが、自分が輝く姿を夢みておられるのです。同じように、男性もいろんな物に投資(時間・金)して自分が輝く姿を妄想する訳です。例えば、ゴルフをする方の中に、たびたびクラブを買い換える方がいらっしゃいます。飛距離を求めてドライバーを買い換えたり、スコアを求めてパターやウエッジを買い換える訳ですが、「技」が追いつかないと単なる妄想でしかない場合が多いのです。でも、妄想している時がワクワクして楽しいので、それだけの価値があると思うのです。

上掲の下部に広島の木原先生の80才から100才に向けての心得をご紹介していますが、先生の意気込みを感じます。先生から「70代は得ること多し」と教えて頂き、私の希望をかきたてているのです。例えば、去年の12月に長年使用したガラ携からスマホに変えたのです。これで、FaceBookやインスタグラム・LINEなどのSNSや写真・音楽なども楽しめるのです。私は、三波春夫さんが大好きなので「俵星玄蕃」をイヤホンで聞きながらウオーキングをするようになりました。

まさに、スマホが私の生活を変えてくれました。ガラ携の時は電話をかけることの方が多かったのですが、親しい方にはショート・メッセージでコミュニケーションするようになりました。簡単な確認事項なら十分に役目を果たしてくれます。今まで、喰わず嫌いであったのを悔やんでいます。

「信念」と「自信」は日常生活で重要な物ですが、その上に「希望」が加わると方向性がハッキリして他の人と一体化しやすくなります。経営者として、将来の夢を語ることが組織のリーダーとして、全員に「希望」を与えるのです。前号の「all for one」のoneは「希望」という目標とも言えるのです。このoneを語るようにしたいと思っています。

ワンポイント・アドバイス

「道」=「首」+「辶」という話は、平成6年に船井総研の客員経営コンサルタントの資格を得て、このままサラリーマンか独立かと悩んでいた時、あるレストランで自民党員だという方と相席になり、その方が教えて下さった言葉です。点(目標)に向かって首(命)をかけて歩むという事に改めて身が引き締まった事を思い出します。お名前を忘れたのが残念です。

「未来」へ確かな「変革」・・AMIの使命
有限会社エー・エム・アイ
〒545-0001　大阪市阿倍野区天王寺町北1丁目8番47号411号室
電話:06(6713)4161、Fax:06(6713)4162　担当:栩野(とちの)